第三種郵便物認可 河北新報 2011年(平成23年)3月12日(土曜日) 8

河北新報
3月12日(土)
河北新報社
仙台市青葉区五橋1-2-28
(郵便番号 980-8660)
「東」は、未来
電話 (022) 211
読者相談室 1447
報道部1127 販売部1304
スポーツ部1130 営業部1318
夕刊編集部1146 営業管理部1312
生活文化部1132 事業部1332
総合案内 (022) 211-1111
ご購読申し込みは 0120-09-3746

宮城 震度7 大津波

M8.8 国内最大

死者・不明者多数

11日午後2時46分ごろ、三陸沖を震源とするマグニチュード(M)8・8の巨大地震があった。気象庁によると、関東大震災のM7・9などを上回り、1923年に日本で近代的な地震観測が始まってから最大。東北から関東にかけての広い範囲で津波や火災が発生した。栗原市では震度7を記録、東北を中心に北海道から九州にかけて震度6強から1を観測した。震源地は牡鹿半島の東南東130㌔付近で、震源の深さは約24㌔。午後3時15分ごろには茨城県・犬吠崎の北東50㌔、深さ約80㌔を震源地とするM7・4の地震があり茨城県鉾田で震度6弱。三陸沖や茨城県沖などを震源とする強い揺れを伴う余震が断続的に続いた。

東北・関東大地震の直撃を受けた東北では、岩手、宮城、福島3県の太平洋沿岸を中心に、津波や土砂崩れ、建物崩壊などにより、死者、行方不明者が多数に上った。3県などによると11日午後11時現在、死者は少なくとも81人。名取市や陸前高田市などでは、一部地域が津波で壊滅状態になっており、各自治体は不明者の救出と被害状況の確認を急いでいる。電気、ガス、水道は寸断された状態が続いている。

宮城県警などによると、仙台港で津波に巻き込まれたとみられる200人以上の遺体をヘリコプターが確認。仙台港に近い仙台市若林区荒浜でも200~300人の遺体が見つかったとの情報がある。

岩手県警によると、大船渡市の綾里地区で津波のため48人が行方不明となり、うち23人は中学生との情報があるという。

仙台港の石油化学コンビナートで火災が発生。近隣の七ケ浜町に爆発音が聞こえ、町は住民に避難を呼び掛けた。

宮城県や県警などによると、確認された県内の死者は16人。名取市閖上では、津波で住宅などが流されたほか火災も発生。閖上大橋付近で、母子が乗った車が流された。七ケ浜町では、津波で流されるなどして4人が死亡。利府町のショッピングセンターでは、幼児がダクトの下敷きになって死亡した。母親も重傷。仙台、石巻、塩釜、大崎の4市と柴田町、涌谷町でも死者が確認された。

岩手県などによると、県内の死者は、大船渡市、陸前高田市、久慈市、宮古市、山田町、大槌町、田野畑村などで34人に上っている。県内全域で行方不明者が出ているもようだ。

県警ヘリによる上空からの情報では、津波による水没で陸前高田市内の市街地が確認できない状態となっている。大船渡市の末崎と細浦の両地区では計300棟が倒壊し、釜石市内では8000棟が被災したとみられる。

久慈市では海沿いにある国家石油備蓄基地が壊滅状態になったとの情報もある。

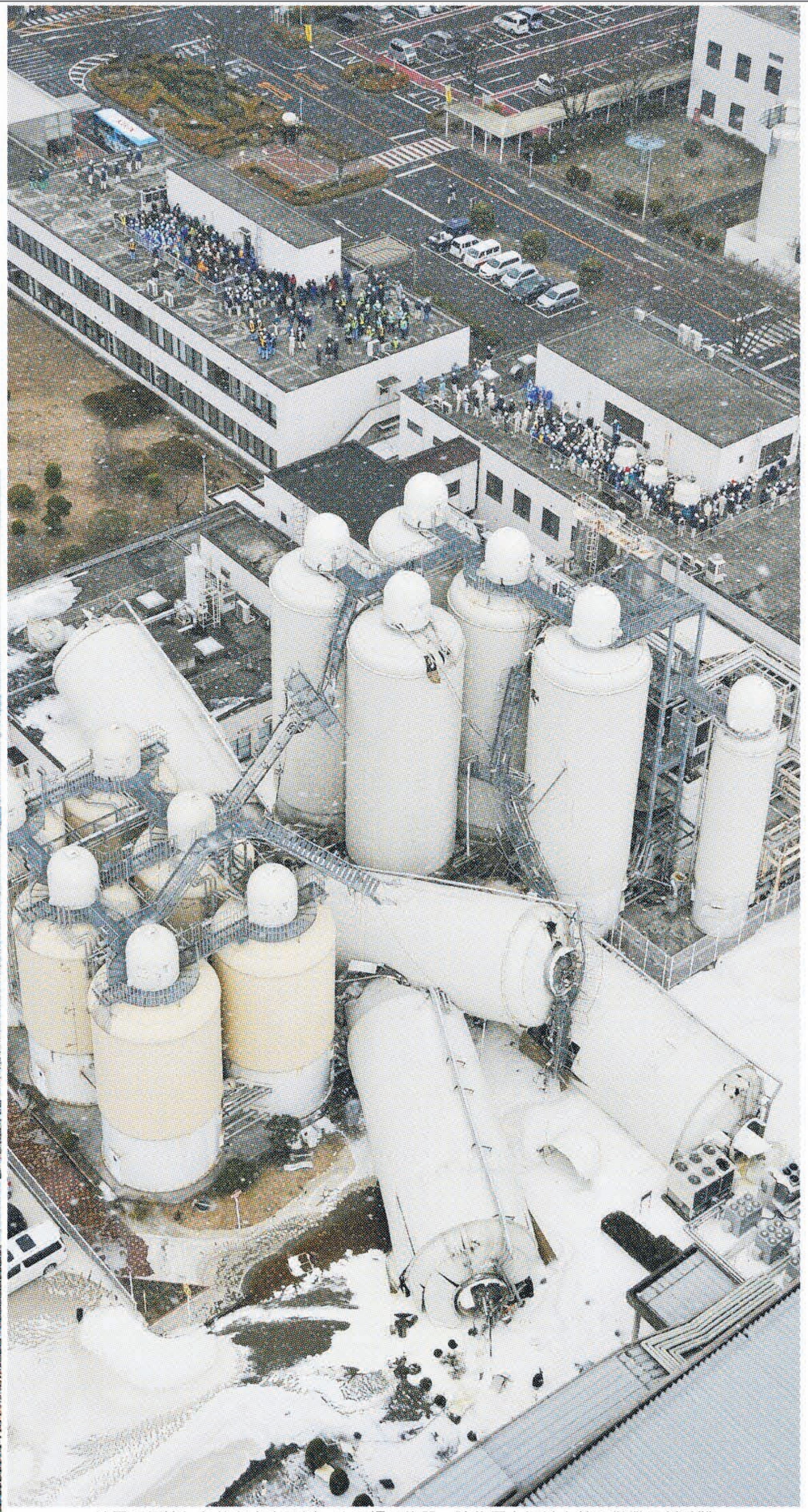
福島県などのまとめでは、死者は南相馬市23人、いわき市5人、相馬市、須賀川市、富岡町各1人の計31人、行方不明者は41人。このうち白河市内では土砂崩れが2件発生し、計14人が不明になっている。

津波により、新地町で家屋約150棟が倒壊、楢葉町でも40~50棟の家屋が流出するなど全壊は234棟に及んでいる。

東北電力によると、女川原発1号機(宮城県女川町、石巻市)のタービン建屋から出火、自衛消防隊が消火活動に当たっている。

東松島市のJR仙石線野蒜駅付近を走行していた列車と、連絡が取れないとの情報がある。

地震による大津波で流された多くの家屋＝11日午後4時8分、名取市



地震で倒壊した仙台市内のビール工場の施設。建物屋上には大勢の従業員が避難している＝11日午後3時36分

東北・関東大地震で特別紙面
2 初の巨大複合型災害
3 「想定外」と気象庁
4 被害拡大 写真で追う
5 テレビ・ラジオ面
6 仙台市内も爪痕深く
7 街消えた 被災地ルポ

減ページと遅配のおわび

11日発生した東北・関東大地震のため、本日付朝刊は8ページの特別態勢紙面とし、くらし面など多くの面を休まざるを得ませんでした。配達も遅れ、深くおわびします。

なお、本日の紙面は緊急時新聞制作相互支援協定を締結している新潟日報社の全面的協力により作成しました。

河北新報社

原子力緊急事態を宣言 福島第一

政府は11日夜、東北・関東大地震の影響で自動停止した福島県の東京電力福島第1原発の1、2号機で、外部からの電力供給が失われるなど緊急に対策を講じる必要があるとして、原子力災害対策特別措置法に基づく「原子力緊急事態宣言」を発令した。2000年の同法施行後、発令は初。

枝野幸男官房長官は同日夜の記者会見で「放射性物質による外部への影響は確認されていないが、原子力災害の拡大防止を図るため応急の対策を実施する必要がある」と述べた。

経済産業省原子力安全・保安院によると、東電から同法に基づく通報があった。外部電力の供給が止まった後、非常用ディーゼル発電機が起動しない異例の状態になった。

保安院によると、このほか、宮城県の東北電力女川1~3号機、福島第1の3号機、福島第2の1~4号機、茨城県の日本原子力発電東海第2でも地震の揺れを検知して原子炉を自動停止した。自動停止した原発は計11基。

原子炉の水位低下 6000人に避難指示

福島県に入った情報によると、東京電力の福島第1原発2号機(大熊町)で、原子炉の水位が低下した。国の原子力災害対策本部は原子力災害対策特別措置法に基づき、第1原発の半径3㌔圏内に住む約6000人に対し、避難指示を出した。

陸自災害派遣 「安全へ総力」首相

政府は11日、東北・関東大地震を受け、菅直人首相と全閣僚が出席した緊急災害対策本部を官邸で数回開き、自衛隊や警察広域緊急援助隊などを被災地に最大限派遣し、救援、救助活動に総力を挙げる方針を決めた。これを受けて陸上自衛隊は部隊を災害派遣で出動させた。

首相は記者会見で「国民の安全を確保し被害を最小限に抑えるため、政府として総力を挙げる」と表明。被災地の原子力発電所について「一部が自動停止したが、外部への放射性物質の影響は確認されていない」と述べた。

会合では「政府としても全身全霊で頑張る。国民の皆さんは助け合いの精神を発揮し、落ち着いて冷静、迅速に行動してほしい」と呼び掛けた。

政府は11日、東祥三内閣府副大臣を自衛隊ヘリコプターで地震被害の激しい宮城県に派遣。各府省の政務三役に対し、担当府省に登庁して対応するよう指示した。

基本方針は被災地に関し「激甚な被害が発生しているもようだ」と指摘した上で、「関係省庁は情報の収集を迅速に行い、被害状況の把握に全力を尽くす」と強調。①緊急輸送路や被災地上空の航空安全の確保②ライフライン、交通機関の復旧③官民一体となった広域応援態勢の構築―に取り組むとした。

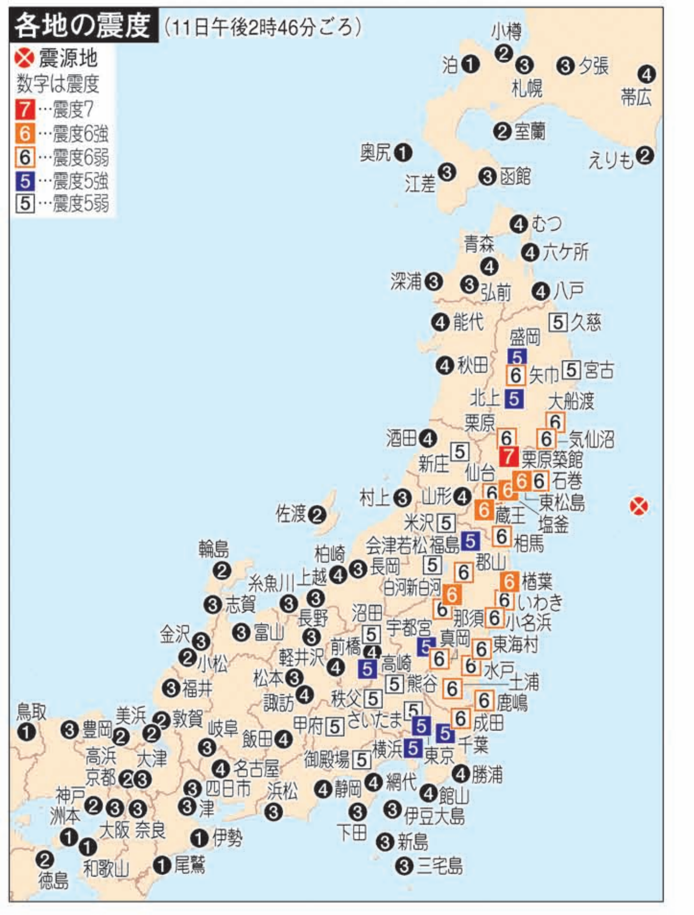
各地の震度

11日午後2時46分ごろの地震で、震度6弱以上を観測した各地の震度は次の通り。

震度7＝栗原築館(宮城)

震度6強＝涌谷、登米米山、登米南方、大崎、大崎古川北、大崎鹿島台、名取、蔵王、山元、仙台宮城野、塩釜、東松島、大衡(宮城)白河新白河、須賀川岩瀬、須賀川、二本松針道、鏡石、楢葉、富岡、大熊、双葉、浪江、新地(福島)日立助川、笠間中央、筑西、鉾田当間(茨城)大田原湯津上、宇都宮白沢、真岡石島、高根沢(栃木)

震度6弱＝大船渡、大船渡猪川、釜石中妻、滝沢、矢巾、花巻大迫、一関山目、一関花泉、一関千厩、一関室根、奥州前沢、奥州衣川(岩手)気仙沼、栗原、登米、登米東和、登米豊里、登米公民館、登米迫、南三陸志津川、南三陸歌津、大崎松山、白石、仙台空港、角田、岩沼、大河原、川崎、亘理、仙台青葉、仙台青葉作並、仙台青葉落合、仙台、仙台若林、仙台泉、石巻、石巻門脇、石巻北上、石巻鮎川浜、東松島鳴瀬、松島、利府、大和、富谷(宮城)郡山、郡山開成、郡山湖南、白河表郷、須賀川八幡山、須賀川長沼、二本松、二本松油井、桑折、国見、川俣、西郷、中島、矢吹、棚倉、玉川、浅川、小野中通、小野町役場、田村大越、田村常葉、田村都路、田村滝根、伊達前川原、小名浜、いわき三和、いわき錦、いわき、相馬、広野下北迫大谷地原、川内上川内小山平、川内村役場、大熊野上、飯舘、南相馬原町高見、南相馬鹿島、南相馬小高、猪苗代千代田(福島)水戸、水戸千波、常陸太田金井、常陸太田高柿、高萩安良川、北茨城、ひたちなか南神敷台、ひたちなか、茨城、東海村、常陸大宮、城里、小美玉小川、小美玉堅倉、土浦、土浦下高津、石岡柿岡、石岡、取手、つくば天王台、つくば、鹿嶋、潮来、坂東山稲敷市役所、かすみがうら上土田、行方玉造、桜川岩瀬、鉾田、つくばみらい加藤(茨城)大田原、那須、那須塩原鍋掛、那須塩原あたご、真岡田町、真岡、芳賀、那須烏山、那須烏山大金、那珂川馬頭、那珂川小川(栃木)桐生元宿(群馬)宮代(埼玉)成田、印西、印西笠神(千葉)



河北春秋

想像を絶する強い揺れ。いつ発生してもおかしくない宮城県沖地震がついに来たと思った人が多かったに違いない。だが、事態はさらに深刻だった▼揺れは際限なく続くように感じた。職場の部屋ではテレビやパソコンが床に落ち、大型の空気清浄機や備品が次々と倒れた。電気が消え、資料は無残に散乱。外壁のタイルが崩れ、水道管も破裂した▼不気味な余震が繰り返される中、情報不足に当初いら立った。津波や土砂崩れが起きたことは断片的に分かったものの、被害状況がなかなかつかめない。通信手段も遮断された状態が続いた▼マグニチュード8・8は国内での観測史上最大。宮城県北で震度7、東北や北関東の広い範囲で震度6強を記録した。震源は三陸沖だが、東北から関東にかけて約400㌔にわたり断層が破壊されたらしい▼状況が徐々に明らかになるにつれて途方もない地震だったことを思い知らされた。津波は仙台新港で10㍍を確認、福島・相馬では7・3㍍を超えた。各地で建物の倒壊や津波による人的被害に加え、火災の発生も相次いだ▼気象庁は「東北地方太平洋地震」と名付けた。死者、行方不明者は増え続けている。身近な人の安否が確認できず、眠れない夜を過ごした人も多いだろう。とにかく被害が拡大しないことを祈るしかない。